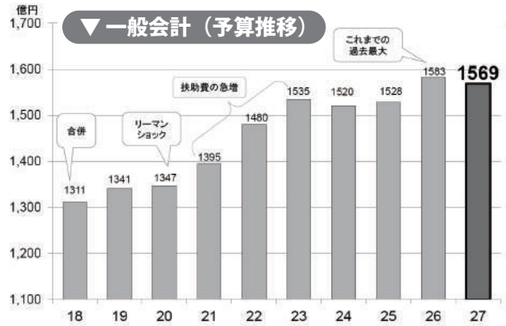
岐阜市議会議員
和田直也
皆様の声をお聞かせください

身長155センチ、
まだまだ小さいままです。
皆様の手で大きくしてください

予算協議 「子ども未来部」いよいよ始動！ 平成２７年度予算協議！

→市議会定例会が開会、議員として最も大切な仕事です。一般会計の総額は１５６９億円と過去２番目に高い予算額。この中には、**これまでの活動の中で予算要望や政策提案を行ってきた内容が含まれています。**日頃頂いている声、これまでの調査研究を活かして、きちんと協議に臨み、実りが実感できるような方向へ運びたいと思います。

新年度予算では、引き続き「子育て・教育」の充実として、行政機構改革が実行されます。福祉部、健康部、教育委員会等に分散していた子育て関連部局を一本化**「子ども未来部」が創設**されます。また、教育施策では、主にコミュニケーション力の強化策として、**小学校１年生からの英語教育を開始**、夏休みには英語キャンプを企画。さらに、本荘に立地する**市科学館に「スーパー理科教室」を新設**、大幅リニューアルに向け準備が始まります。ひとつひとつ丁寧に予算審議に臨みます。



議員定数 人口減を見据え、中長期的には 中学校区で１名（＝２２名）を目安に。

→議員定数の協議が今定例会で始まっています。議員定数については、従前は地方自治法第９１条で上限が定められていましたが、平成２３年の法改正で上限枠が撤廃され、各都市の条例で定めることになっています。ただ、**誰もが納得する明確な根拠となる定数は見当たりません。**

通常、選挙が近づくと「議員なんて毎日何しているかわからない（だから）減らせば良い」という削減の声と、一方で「ウチの校区（小学校区）からひとり（市議を）出したい」という、一見相反する声を頂きます。しかし、後者のニーズを満たそうとすると、岐阜市の場合は統合した旧学区を含めると全部で４９校区ですから、４９人の定数が必要になります。これから人口減少の時代、さすがにそれは…、と思う訳ですが、であれば**「定数削減」と「校区からひとり」そのニーズを両立させる一つの目安**（岐阜市の場合は全市１区ですので、区割りではありません、あくまで目安）として、**私は「中学校区単位で市議１名＝定数２２～２４」を提案**しています。

時代は既にＮＰＯや各種団体をはじめ、まちづくりに参画するプレイヤーは地縁を母体とする町内会・自治会連合会に留まらず、テーマ別にも実に多様化しています。結果、現在はこうした多様なテーマコミュニティに関わる団体にも地域組織に参画して頂こうと、「まちづくり協議会」がより重視されている時代です。

私は、これからの時代の「まちづくり協議会」は現在の小学校区単位より枠を広げ**「中学校区単位」で再編成、そこに使途限定のない「まちづくり交付金」＝地域予算制度を導入することで「多様な選択肢のある地域核」をつくる**ことが、これからの多様な市民ニーズに応える一つの策ではないかと考えています。結果、**地域の目線を中学校区単位に上げていくことで、同時に市議会議員の「地域での動き方」も変えていく。**それくらいの大胆な改革こそ、人口減少時代を生きる責任世代の事前の策（具体策）ではないか、と考えています。

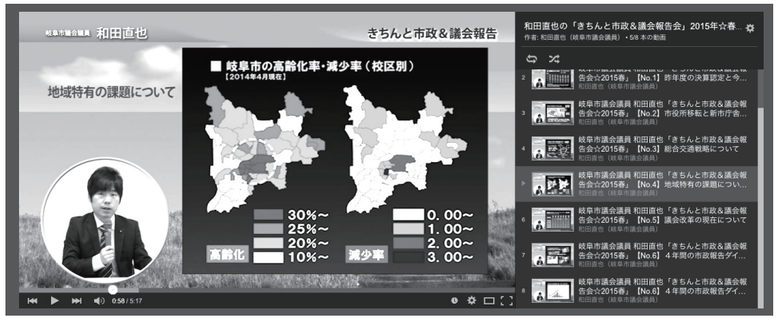
4年間の市政報告 26+4+4×！ 和田直也が変わる！ 2011 - 12 - 13 - 14 - 15 +

未来の声に応えるために！ 和田直也 検索

編集・レイアウト・印刷・お届け全て和田直也の手作り議会だよりです。【平成２７年 春号 Vol.3】

YouTube動画 ダイジェスト版にまとめて発信！

→年２回（春と夏）に上半期・下半期にわけて開催しています「和田直也のきちんと市政＆議会報告会」なるべく皆さんのご近所にお伺いすべく、毎回市内８会場（木之本・本荘・島公民館、東西南北の各コミュニティーセンター、円徳寺会館等）にて開催しています。市政＆議会の動向を一方的にご報告するだけでなく、日常の生活でのお困り事やご要望、事業提案の場としても、この８年間の議員活動で特に大切にしてきました。しかしながら、議員の報告会といっても**「支持者の集まり？」何となく行きにくい…等**、そんな声も頂いています。一方で「議員が毎日何しているのかわからない」慢性的なこの課題にも応えるべく、この「市政＆議会報告会」の内容をダイジェストにまとめて、**YouTube での動画配信を平成２４年度分より始めています。いつでも・どこからでも皆さんお持ちの携帯、パソコン等から「YouTube」→「和田直也」と検索**、議会活動を厳しくチェックして下さい。



重点プロジェクト＆議会質問で政策実現

◎ FC 岐阜への支援体制「請願」採択（H24）
→請願文書の作成と採択に向けた調整、全会一致で採択

◎ 難病支援・慢性疲労症候群患者会を設立（H24）
→意見書採択、厚生労働省より全国実態調査を開始！

◎ 柳ケ瀬とれたて市場を開設！（H25）
→岐阜中央卸売市場と商業地（中心市街地）の連携促進
→新鮮野菜・お魚等の市場開設でフードデザート問題対策

◎ MEDICA（緊急時医療情報カード）導入（H25）
→迅速＋質の高い救急医療のツールとして市民病院に導入

◎ WiFi スポットと facebook, YouTube サイト開設（H26）
→うかいミュージアム、鵜飼のりばに WiFi スポット開設
→岐阜市公式 facebook＆YouTube サイトを開設

◎「親子手帳」の導入を提案！改正へ向け準備着々（H26）
→子育ての多様化に伴い「母子手帳」を名称変更（H27～）

◎「まちまるごと岐商祭」を企画（H26）
→県岐商 × 市岐商 ＋ 商業地（中心市街地）の連携促進！
→第３次・岐阜県教育ビジョンを見据え、連携強化へ！

◎「都市ブランド戦略会議・岐阜命名４５０年！事業提案」
→民間委員を採用、アイデア結集、プロジェクト着手へ！

◎ ２階に体育館のある学校（７小中）にエレベーター導入
→防災拠点として上下移動解消へ前向きに検討（H27～）
→本荘・加納・且格・網代小、長良・藍川北・長森南中

+4 議会＆日々の活動で政策を実現します！

行政改革 人口減少時代を見据えた「公共施設総合管理計画」を遂行する「仮称・資産経営課」の設置。

新市庁舎 高層化阻止と窓口の適正配置、庁舎の適正規模化を推進。同時に跡地利用の意見集約を推進。

学校再編 クラス替えのできる小学校の適正規模化を推進。跡地利用計画の意見集約を丁寧に、丁寧に推進。

総合交通 トランジットモール（公共交通と人だけの道空間）の中心市街地への導入に向けた政策調整に着手。

議会改革 議会基本条例の制定により、議会活動を見える化！議決賛否一覧表の公開と議会だよりの発行。

安心医療 岐阜市民病院の独法化を含め「優良病院」の安定的な維持に向け、政策調整（事前の一策）を推進。

岐商連携 H30 年の県教育ビジョンを見据え「まちまるごと岐商祭」を土台に県岐商と市岐商の交流・連携強化と商店街との橋渡しを継続。

和田直也を大きくする会

〒500-8879 岐阜市徹明通6-1
TEL + FAX： 058-251-2638
E-mail： office@wada-naoya.jp

和田直也、
手作りの市議会だよりです。

1980 - 岐阜市生まれ
（岐阜幼稚園、本之本小、本荘中 卒業）
1999 - 県岐阜商 国際コミュニケーション科 卒業
2006 - 立命館大院 法学研究科 修了（法学修士）
～ 会社員を経て ～
2007 - 岐阜市議会議員 初当選（26才）
2011 - 再選
【現在】総務委員、総合交通対策特別委員
市岐商問題対策特別委員長

市議会インターネット録画中継

１００％ノーカットで本会議の模様を生中継と録画中継でご覧頂けるようになりました。議員が議会で何を質問し、それがどんな形でまちに反映されているのか。ぜひ生の情報をご覧ください。
http://www.discussvision.net/gifusi/index.html
※岐阜市役所ＨＰからもリンクしています。